

第2次栗原市総合計画
【概要版】

第2次栗原市 総合計画

(平成29年度～平成38年度)

宮城県栗原市

将来像を実現するための取り組み

I 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために

美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

- ①自然と共生した生活環境の創造と資源循環型地域社会を目指します。
- ②地域の生活基盤の向上と、都市機能が集積された市の中核機能地域を形成し、魅力ある田園都市を目指します。
- ③豊かに暮らせる田園都市としての魅力を高め、人口流出抑制と都市等からの移住・定住を促進します。

豊かな心と文化を育み、生涯を通じて学べるまちづくりを目指します

- ①市民による多様な文化芸術活動を支援します。
- ②市民が自主的に生涯学習を楽しめる環境づくりを推進します。
- ③栗原の歴史遺産や地域の伝統文化を守り、次代に継承します。

安全・安心なまちづくりを推進します

- ①「自助・共助・公助」に加え、新たに「近助（*注）」による防災・減災の取り組みを推進し、多発する大規模自然災害に強い地域づくりを目指します。
- ②防犯及び交通事故防止の視点に立った安全な地域づくりと、市民生活を脅かす多様化する問題に取り組みます。
- ③市民の生命と財産を守るため、消防・救急体制の充実を図ります。

*注「近助」とは…「自助」と「共助」の間をつなぐ近隣住民同士の見守り、助け合いの精神。

II 子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまちを創るために

結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します

- ①結婚・妊娠・出産を希望する人への支援の充実を図ります。
- ②子どもが心身共に健やかに成長するように、保健・医療・福祉の充実を図ります。
- ③地域ぐるみで子育てに取り組む体制を整え、ゆとりある子育て環境の充実を図ります。

次代を担うたくましい子どもを育成します

- ①夢や志の実現に向けて、自ら学び自ら考え行動でき、国際的視野を持った子どもを育てる教育を推進します。
- ②ふるさとに誇りを持ち、命を大切に、高い志と思いやりを持つ子どもを育てる教育を推進します。
- ③子どもの心と体の健康づくりと、体力の向上を図ります。

人とつながり、支え合い、互いに高め合う子どもを育てる環境を目指します

- ①学校・家庭・地域の教育力の向上を図り、地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進します。
- ②配慮が必要な子どもへの支援と、教育相談体制の充実を図ります。
- ③安全で安心して学べる教育環境の充実を図ります。

Ⅲ 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために

誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

- ①すべての市民が元気に活動できるように、健康増進の施策を推進します。
- ②障がい者の社会参加の促進と自立した生活を支援します。
- ③市民の健康保持と体力向上を図るため、市民が自主的に行うスポーツやレクリエーションを楽しめる環境づくりを推進します。

高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します

- ①高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援します。
- ②健康づくりと介護予防を推進し、健康寿命の延伸を目指します。
- ③地域包括ケアシステムを構築し、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指します。

市民が安心して暮らせるための地域医療を守ります

- ①市立病院の機能維持に努めます。
- ②地域医療を支える人材の確保と育成に努めます。
- ③地域の医療機関との連携を密にし、地域医療を守ります。

Ⅳ 地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまちを創るために

持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

- ①将来にわたり持続可能な農林業を目指し、多様な経営感覚を備えた農業者等の育成を図ります。
- ②効率的で安定的な農林業の実現に向け、生産基盤等の強化を図ります。
- ③意欲のある生産者に対し、生産から加工、流通・販売まで対応できる体制づくりを支援するとともに、広く認められる栗原ブランドの確立を目指します。

産業育成と企業誘致による産業拠点形成します

- ①優れた高速交通体系など、地の利を生かした企業誘致を進めるとともに、既存企業との取引拡大や企業間の連携を促進し、産業拠点の形成を目指します。
- ②市内での創業・起業を支援するとともに、既存企業の経営安定化と雇用機会の創出に取り組みます。
- ③空き店舗の活用促進など、新たな事業展開や新規参入を目指す事業者等による、賑わいのある商店街づくりを支援します。

地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します

- ①観光地域づくりの推進主体を設立し、効果的なマーケティングの実施により、新たな観光戦略を構築します。
- ②多様な地域資源を生かした「田園観光都市」づくりを発展させ、栗駒山麓ジオパーク（*注）などを活用し、県境を越えた広域連携による交流の拡大を目指します。
- ③市民の「おもてなし意識」を高めながら、自然環境の豊かさや歴史・文化を共有できる国内・国際交流の推進と、インバウンド（*注）の誘客促進に取り組みます。

*注「栗駒山麓ジオパーク」とは…平成 20 年岩手・宮城内陸地震で被災した栗駒山麓崩壊群の地形・景観などを防災教育、学術研究、観光に活用し持続可能な地域づくりを進めるため、市全域をエリアとしたジオパークとして、平成 27 年 9 月に日本ジオパークに認定された。平成 28 年 9 月現在、国内 43 の地域が日本ジオパークに認定されており、そのうち、8 地域がユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の定める理念に基づいて、世界ジオパークにも認定されている。

*注「インバウンド」とは…海外から日本を訪れる観光客。

V 市民がまちづくりを楽しめるまちを創るために

小さなコミュニティを大切にしたい地域づくりを推進します

- ①「自助・共助・公助」に加え、これまで培ってきた「近助」の精神を財産に、コミュニティの活性化につながる活動を支援します。
- ②地域の課題解決に市民が主体的に取り組むことを推進します。
- ③地域の個性ある魅力的な取り組みを支援し、地域間の連携を促進します。

市民が自ら行うまちづくり活動を支援します

- ①自治会などによる自主的な市民活動を支援し、市民が生きがいを感じ、楽しみながらまちづくりに参加できる社会を目指します。
- ②公益活動を行う団体などの育成に努め、協働のまちづくりを進めます。
- ③男女が互いに尊重し、対等な立場でまちづくりに取り組むことを推進します。

市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います

- ①多様な市民ニーズを把握して、満足度が高まる行政サービスを提供します。
- ②市民との情報共有を高め、市民の声を市政に反映させる仕組みを充実させます。
- ③徹底したコスト削減を行い、効率的で安定した行財政運営に取り組みます。

放射能対策プロジェクト

目標

福島第一原子力発電所からの放射性物質拡散による汚染被害への対策に努め、安全・安心な暮らしを守ります。

具体的な取り組み

◎ 測定監視と迅速な情報公開

市独自に市内の複数箇所での大気中の放射線量測定をはじめ、子育て施設や教育施設の園庭や校庭での測定を継続するほか、学校給食の食材や水道水、農林畜産物、上下水道汚泥中の放射性物質の測定も継続実施し、監視体制を維持します。また、測定結果はすべてホームページで公開し、安全・安心な子育て・教育環境の提供と、市民の不安解消に努めます。

◎ 市民の健康不安の解消

市が独自に設置したホールボディカウンタによる放射性物質内部被ばく線量測定の実施により、市民の健康不安の解消に努めます。

◎ 安全・安心な農作物の生産対策

農作物の放射性物質吸収抑制対策などを実施し、農家等が安心して生産に取り組める体制を支援します。

◎ 保管牧草等対策

微生物による汚染牧草の堆肥化実験結果を踏まえた、保管牧草の処理を進め、保管の長期化を心配する農家等の不安解消を図ります。

◎ 農産物等の風評被害の払拭

関係機関と連携したイベント等を開催し、栗原産農林畜産物等の安全・安心を全国にPRして風評被害の払拭と消費拡大を図ります。

市民が創る くらしたい栗原

古来より栗駒山を水源とする清らかな水が、複数の河川を經由して、
栗原で暮らす人々の生活に繁栄をもたらしてきました。

栗原の歴史は、自然環境と人々の日常生活が良好な関係を築いてきた歴史でもあります。
そして現在においても、先人から引き継いできた自然が多く残されています。

これからの栗原市において、恵まれた自然環境を生かし、国際的視野と情報を携えた、
人間社会が築くべき環境と共生する理想的な生活空間を創造するために、
市政運営の理念として「市民が創る くらしたい栗原」を掲げます。



栗原市

〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号
TEL:0228-22-1125 FAX:0228-22-0313
e-mail:kikaku@kuriharacity.jp <http://www.kuriharacity.jp/>